教育・保育給付認定申請書兼特定教育・保育施設等入所申込書

年　　月　　日

北塩原村長

保護者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

□次のとおり、教育・保育給付認定を申請します。
□次のとおり、特定教育・施設等に入所を申し込みます。

申請に係る小学校就学前子ども	(ふりがな) 氏　　名	生年月日	性別	個人番号
		年　　月　　日	男・女	
障害者手帳等の有無	有　・　無　（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、児童扶養手当証書 等）			
保護者 住所・連絡先	住　所　〒　　－ 北塩原村大字 連絡先　自宅：　　-　　-　　（父・母）携帯：　　-　　-			
年１月１日時点の保護者の住所　同上　・　以外（　　）				
支給認定証番号	（　　）　※既に支給認定を受けている場合に記入してください			
保育の希望の有・無(※)	有　：　保護者の労働又は疾病等の理由により、保育所等において保育の利用を希望する場合（幼稚園等と併願の場合を含む）			
	無　：　幼稚園等の利用を希望する場合　（保育所等と併願の場合を除く）			
その他	アレルギー・食事制限：有（　　）・無　　その他（　　）			

（※）・「保育所等」とは、保育所、認定こども園（保育部分）、小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育等をいいます。（以下同じ。）
・「幼稚園等」とは、幼稚園、認定こども園（教育部分）等をいいます。
・「有」を○で囲んだ場合には①～④に、「無」を○で囲んだ場合は①～②に必要事項を記入してください。

① 世帯の状況（申請児童は除く）

区分	(ふりがな) 氏　　名	児童との続柄	生年月日	性別	職業又は学校名等	備考 (個人番号等)
児童の世帯員			年　　月　　日	男・女		
			年　　月　　日	男・女		
			年　　月　　日	男・女		
			年　　月　　日	男・女		
			年　　月　　日	男・女		
			年　　月　　日	男・女		

② 利用を希望する期間、希望する施設（事業者）

利用を希望する期間	年　月　日 から　年　月　日 まで	
利用を希望する施設（事業者）	施設（事業者）・希望理由	※事業所番号（村記入欄）
	第１希望　（希望理由）	
	第２希望　（希望理由）	
	第３希望　（希望理由）	

③ 保育の利用を必要とする理由等

※保護者の労働又は疾病等の理由により保育所等において保育の利用を希望する場合に記入してください。

保育の利用を必要とする理由	続柄	必 要 と す る 理 由	備　考
		□就労　□妊娠・出産　□疾病・障害　□介護等　□災害復旧 □求職活動　□就学　□虐待・ＤＶ　□育児休業　□その他 選択した項目の具体的な状況 ［　］	同居・別居
		□就労　□妊娠・出産　□疾病・障害　□介護等　□災害復旧 □求職活動　□就学　□虐待・ＤＶ　□育児休業　□その他 選択した項目の具体的な状況 ［　］	同居・別居
家庭の状況	□ひとり親家庭・□生活保護世帯（　年　月　日から開始） □障害児（者）のいる家庭（氏名：　）		
希望する保育時間	□保育標準時間（１１時間）　・　□保育短時間（８時間）		
希望する利用曜日・時間	利用曜日（利用曜日に○）	利用時間	
	月　火　水　木　金　土	から　まで	

④ 税情報等の提供にあたっての署名欄

村が教育・保育給付認定に必要な村民税の情報（同一世帯者を含む）及び世帯情報を閲覧すること。また、その情報に基づき決定した利用者負担額等について、特定教育・保育施設等に対して提示することに同意します

保護者氏名　印

（裏面）

＊村記入欄

受付年月日	年　月　日

認可の可否	認定者番号	認定区分等
可　・　否 （否とする理由） 年　月　日認定		□１号　□２号　□３号 （□標準　□短時間）
支給（入所）の可否		支給（利用）期間
可　・　否 （否とする理由） [□施設型　□地域型　□特例施設型　□特例地域型]		自：　年　月　日 至：　年　月　日
入所施設（事業者）		
□幼稚園　□保育所　□地域型　（□小規模　□家庭的　□居宅　□事業所） □認定こども園　（□連　□幼　□保　□地　）		
備　考		

＊施設記載欄（施設（事業者）を経由して村に提出する場合）

受付年月日	年　月　日

施設（事業者）	（事業所番号：　）
担当者氏名 連絡先	（担当者） （連絡先）
備考	

記入上の注意

この支給認定申請書（兼）特定教育・保育施設等入所申込書は、保護者が次の点に注意し記入の上、村役場（施設（事業者）を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出してください。なお、その家庭から２人以上の児童が同時に申請を行う場合は、それぞれの児童ごとに１枚の用紙を用いてください。

（表面）

1　「申請に係る小学校就学前子ども」の欄は「氏名」にふりがなを付してください。

2　「障害者手帳等の有無」の欄は、それぞれ該当するものを〇で囲んでください。

3　「認定者番号」の欄は、申請児童が既に施設型給付費・地域型保育給付費の支給認定を受けている場合は、当該申請児童に係る認定者番号を記入してください。

4　①「世帯の状況」の欄は、申請児童の両親、同居している親族及び生計を一にしている兄弟姉妹等（別居を含む。）の全員（申請児童は除く。）について記入するとともに、「性別」の欄は該当するものを〇で囲んでください。また、世帯員の中で申請児童の他に施設型給付費・地域型保育給付費の支給認定を受けている児童がいる場合は、当該児童に係る「認定者番号」を「備考」に記入してください。

（裏面）

5　②「利用を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち、施設（事業者）の利用を希望する期間を記入してください。（「保育の希望の有無」の欄で「有」を〇で囲んだ場合は、保育の実施が必要な理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。）

6　②「利用を希望する施設（事業者）」の欄は、希望する順位に従い施設（事業者）を記入し、また、その施設（事業者）を希望する理由（例えば、既に兄弟が利用しているため、延長保育（預かり保育）を実施しているため、距離が近いため等）を記入してください。

7　③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の「保育の希望の有無」の欄で「有」を〇で囲んだ場合に記入してください。また、備考欄には、同居・別居の区分を〇で囲んでください。
（「無」を〇で囲んだ場合は記入の必要はありません。）

8　保育の認定基準は、次に掲げるような場合です。

保育の必要性の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

⑴　就労等　（家庭外労働）児童の保護者が家庭の外で仕事をするため、その児童の保育ができない場合
　　（家庭内労働）児童の保護者が家庭で仕事をするため、その児童の保育ができない場合
⑵　妊娠・出産　児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合
⑶　疾病・障害　児童の保護者が病気、負傷、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合
⑷　介護等　児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障がいのある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合
⑸　災害復旧　火災や、風水害や、地震などの不幸があり、その家庭を破損等したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合
⑹　求職活動　児童の親が求職活動（起業準備を含む。）を行っているため、その児童の保育ができない場合
⑺　就学　児童の親が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む。）のため、その児童の保育ができない場合
⑻　虐待・ＤＶ　児童虐待や配偶者暴力等のため、その児童の保育ができない場合
⑼　育児休業　育児休業中に、当該児童以外の児童を引き続き保育を利用させる場合
⑽　その他　⑴～⑼に類するものとして村長が認める事由に該当する場合

9　③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の①「世帯の状況」の欄に記入した児童の世帯員のうち、児童の保護者ごとに、児童を保育できない理由を８の表⑴～⑽のいずれの掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての□にチェック（☑）し、その他具体的な状況について、同欄に記入してください。また、「続柄」の欄について、同一の「続柄」に属するものが複数いる場合には、備考欄に氏名を記入してください。

10　③「家庭の状況」の欄は、該当する□にチェック（☑）してください。

11　④「税情報等の提供に当たっての署名欄」は、署名欄の記載の内容を確認のうえ、署名・捺印して下さい。

（留意事項）　支給認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、

- 保育の実施基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- 希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合
- 保育の実施基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合があります。あらかじめご承知ください。